

歳暮陰陽催短景 天涯霜雪霽寒宵

夷歌幾處起漁樵 臥龍躍馬終黃土

五更鼓角聲悲壯 三峽星河影動搖。野哭千家聞戰伐

人事音書漫寂寥

【読み】

歳暮陰陽短景（たんけい）を催（もよお）す 天涯の霜雪寒宵（かんしょう）に霽（は）る 五更の鼓角（こかく）

の聲（こえ）悲壯（ひそう） 三峽の星河 影 動搖（どうよう）す 野哭（やくく）千家（せんか）戰伐（せんぱ）

つ）を聞き 夷歌（いか）幾處（いくしょ）か漁樵（ぎょしょう）に起こる 臥龍（がりゅう）躍馬（やくば）、終

（つい）に黃土（こうど） 人事（じんじ）音書（いんしょ）漫（そぞ）ろに寂寥（せきりょう）

【意味】

年暮れて、陰陽の運行は日差しを短くせきたて、天の涯（はて）なるこの町、霜雪が晴れ、寒い夜が広がる。

五更（夜明け前）、陣營の太鼓や角笛の音が悲壯に響き、三峽の空には、天の川がかかり、その影が水に揺れ動いている。野には泣き叫ぶ声が満ち、千戸の人々が戦乱を聞き嘆き、異民族の歌が、あちこちで漁夫や樵夫の間から起こる。かつての臥龍（諸葛孔明）、躍馬の武将（公孫述）も、ついには黃土に歸し、人の世の消息は途絶えて、ただむなしく寂しさばかりが漂っている。

*陰陽…日月の運行。四季の変化は陰陽の気の消長による。 *短景…短い日差し *戰伐…戦乱 *躍馬…成都を本拠にした武将、公孫述のこと。蜀漢の武将（劉備・関羽・張飛などの勇将）と解す説もある。 *人事…人の世のいとなみ *音書…たより

【出典】 閣夜（杜甫・盛唐） 唐詩三百首 杜甫が戦時に寓居していた家（西閣）での過ごす夜

※歳末の三峽の寒夜に、戦乱の悲惨さと人々の苦しみを見つめつつ、かつての英雄（諸葛亮・公孫述ら）すら黃土に歸したことを思い、人世の無常と寂しさを深く嘆いた詩です。